

原子力災害医療活動実施要領【新旧対照表（抜粋版）】

| 現 行 | 修 正 案 | 備 考 |
|--|---|-----|
| <p>I 原子力災害医療の基本的な考え方</p> <hr/> <p>I - 1 原子力災害医療の基本方針</p> <p>I - 1 - (1) 原子力災害医療の基本方針</p> <p>原子力災害医療は、「いつでも、どこでも、誰でも最善の医療を受けられる」という救急医療の原則と、医療対応の能力を上回る多数の傷病者の発生を伴う災害にあっては「最大多数に最大の利益を」という災害医療の原則に立脚し、既存の救急医療体制、災害医療体制との整合性を図るものとする。このことは、原子力発電所の従事者と周辺住民等を分け隔てなく平等に治療するという基本認識に基づき、様々な事態を想定した医療提供体制を構築していかなければならないということの意味する。</p> <p>例えば、原子力発電所から放射性物質が大量に放出する事故の場合は、国、地方公共団体は災害対策本部を設置し、住民等に対し避難退域時検査を実施することとしている。また、緊急時の混乱により生じる一般傷病者に対する医療が必要となるほか、特に医療を必要としない多くの者が放射線障害に対して漠然とした不安や危惧を持ち、医療施設に検査等を求めてくることも予想される。</p> <p>さらに、原子力発電所内での事故のように災害対策本部設置に至らない場合にも、放射性物質による汚染あるいは放射線被ばくを伴う傷病者が発生する場合がある。特に、原子力発電所内での事故の場合、深刻な被ばくや汚染、合併損傷を負うことも想定される。</p> <p>こうしたあらゆる事態に対し迅速、的確に対応するためには、関係者の協力によりあらかじめ原子力災害医療体制について不断の検討を進め、適切な研修・訓練を実施することにより、円滑に被ばく者等を診療できる体制を構築するとともに、事故の状況と汚染検査等の結果について積極的な情報提供・広報活動を行い、住民等の不安の解消に努めることが必要である。</p> <p>I - 1 - (2) 原子力災害医療と一般医療の違い</p> <p>一般医療と原子力災害医療の相違点は、次のとおりである。</p> <p>①汚染管理及び放射線防護の必要性</p> <p>1) 医療関係者、医療機器、壁、床等への汚染拡大防止等</p> <p>医療関係者の被ばく線量の低減化を図るとともに、医療機器、壁、床等の汚染防止、汚染の拡大防止等の放射線防護対策を行う。</p> <p>2) 医療関係者の被ばく線量の管理を行う。</p> | <p>I 原子力災害医療の基本的な考え方</p> <hr/> <p>I - 1 原子力災害医療の基本方針</p> <p>I - 1 - (1) 原子力災害医療の基本方針</p> <p>原子力災害医療は、「いつでも、どこでも、誰でも最善の医療を受けられる」という救急医療の原則と、医療対応の能力を上回る多数の傷病者の発生を伴う災害にあっては「最大多数に最大の利益を」という災害医療の原則に立脚し、既存の救急医療体制、災害医療体制との整合性を図るものとする。このことは、原子力発電所の従事者と周辺住民等を分け隔てなく平等に治療するという基本認識に基づき、様々な事態を想定し医療提供体制を構築していかなければならないということの意味する。</p> <p>例えば、原子力発電所から放射性物質が大量に放出する事故の場合は、国、地方公共団体は災害対策本部を設置し、住民等に対し避難退域時検査を実施することとしている。また、緊急時の混乱により生じる一般傷病者に対する医療が必要となるほか、特に医療を必要としない多くの者が放射線障害に対して漠然とした不安や危惧を持ち、医療施設に検査等を求めてくることも予想される。</p> <p>さらに、原子力発電所内での事故のように災害対策本部設置に至らない場合にも、放射性物質による汚染あるいは放射線被ばくを伴う傷病者が発生する場合がある。特に、原子力発電所内での事故の場合、深刻な被ばくや汚染、合併損傷を負うことも想定される。</p> <p>こうしたあらゆる事態に対し迅速、的確に対応するためには、関係者の協力によりあらかじめ原子力災害医療体制について不断の検討を進め、適切な研修・訓練を実施することにより、円滑に被ばく者等を診療できる体制を構築するとともに、事故の状況と汚染検査等の結果について積極的な情報提供・広報活動を行い、住民等の不安の解消に努めることが必要である。</p> <p>I - 1 - (2) 原子力災害医療と一般医療の違い</p> <p>一般医療と原子力災害医療の相違点は、次のとおりである。</p> <p>①汚染管理及び放射線防護の必要性</p> <p>1) 医療関係者、医療機器、壁、床等への汚染拡大防止等</p> <p>医療関係者の被ばく線量の低減化を図るとともに、医療機器、壁、床等の汚染防止、汚染の拡大防止等の放射線防護対策を行う。</p> <p>2) 医療関係者の被ばく線量の管理を行う。</p> | |

原子力災害医療活動実施要領【新旧対照表（抜粋版）】

| 現 行 | 修 正 案 | 備 考 |
|--|--|-----|
| <p>3) 放射性物質による汚染がある場合には、除染を行い、残存汚染のないことを確認する。</p> <p>4) 除染に使用した資機材等については、汚染の有無を確認し、汚染が確認されたものについては保管し、原子力事業者へ引き渡す。</p> <p>②内部被ばく、放射性物質による汚染創傷に対する処置</p> <p>1) 内部被ばくに対する治療</p> <p>2) 汚染創傷に対する処置（滅菌生理食塩水等による洗浄、ブラッシング、デブリードマン等）</p> <p>3) 尿、便、吐瀉物等の生体試料の管理</p> <p>③線量評価に基づく治療方針の決定</p> <ul style="list-style-type: none"> 原子力災害拠点病院等の医師は、被ばく者等の推定線量に基づく放射性物質や放射線による障害の程度を考慮して治療方針を策定する。 <p>④放射線管理要員の協力支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 被ばく者等に随行する放射線管理要員は、被ばく者等の搬送時や医療機関での除染処置、汚染の拡大防止等の放射線防護や放射線管理について協力、支援する。 <p>I - 1 - (3) 被ばく者等の定義</p> <p>被ばく者等とは、放射線による被ばく又は放射性物質による身体汚染を伴う傷病者又はその恐れのある者をいう。</p> <p>I - 2 放射線事故・災害の想定と対応措置</p> <p>I - 2 - (1) 放射線事故・災害の想定</p> <p>本実施要領において対策を講ずべき事故・災害は、北海道地域防災計画（原子力防災計画編）に基づき、北海道電力(株)泊発電所における放射性物質又は放射線が異常な水準で事業所外に放出される原子力災害ならびに原子力災害に至らない労災事故等であり、表1-1のとおりとする。</p> <p>原子力発電所以外の事故への対策は、原子力発電所における事故への対策に準じて行うこととする。さらに、原子力災害の発生と同時期又は連続して地震、津波、台風等による災害が発生し、その影響が複合化することにより、災害応急対策が困難となる事態（以下「複合災害」という。）への対策も、本実施要領に準じて行うものとする。</p> | <p>3) 放射性物質による汚染がある場合には、除染を行い、残存汚染のないことを確認する。</p> <p>4) 除染に使用した資機材等については、汚染の有無を確認し、汚染が確認されたものについては保管し、原子力事業者へ引き渡す。</p> <p>②内部被ばく、放射性物質による汚染創傷に対する処置</p> <p>1) 内部被ばくに対する治療</p> <p>2) 汚染創傷に対する処置（滅菌生理食塩水等による洗浄、ブラッシング、デブリードマン等）</p> <p>3) 尿、便、吐瀉物等の生体試料の管理</p> <p>③線量評価に基づく治療方針の決定</p> <ul style="list-style-type: none"> 原子力災害拠点病院等の医師は、被ばく者等の推定線量に基づく放射性物質や放射線による障害の程度を考慮して治療方針を策定する。 <p>④放射線管理要員の協力支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 被ばく者等に随行する放射線管理要員は、被ばく者等の搬送時や医療機関での除染処置、汚染の拡大防止等の放射線防護や放射線管理について協力、支援する。 <p>I - 1 - (3) 被ばく者等の定義</p> <p>被ばく者等とは、放射線による被ばく又は放射性物質による身体汚染を伴う傷病者又はその恐れのある者をいう。</p> <p>I - 2 放射線事故・災害の想定と対応措置</p> <p>I - 2 - (1) 放射線事故・災害の想定</p> <p>本実施要領において対策を講ずべき事故・災害は、北海道地域防災計画（原子力防災計画編）に基づき、北海道電力(株)泊発電所における放射性物質又は放射線が異常な水準で事業所外に放出される原子力災害ならびに原子力災害に至らない労災事故等であり、表1-1のとおりとする。</p> <p>原子力発電所以外の事故への対策は、原子力発電所における事故への対策に準じて行うこととする。さらに、原子力災害の発生と同時期又は連続して地震、津波、台風等による災害が発生し、その影響が複合化することにより、災害応急対策が困難となる事態（以下「複合災害」という。）への対策も、本実施要領に準じて行うものとする。</p> | |

原子力災害医療活動実施要領【新旧対照表（抜粋版）】

| 現 行 | | | | 修 正 案 | | | | 備 考 |
|--|---|--|--|--|---|--|--|-----|
| 表 1 - 1 放射線事故の想定 | | | | 表 1 - 1 放射線事故の想定 | | | | |
| 事故の種類 | 事 故 の 内 容 (例) | 問題となる主な 放射性核種 | 医 療 処 置 | 事故の種類 | 事 故 の 内 容 (例) | 問題となる主な 放射性核種 | 医 療 処 置 | |
| 原子力発電所内 での事故（労働災 害） | 事業所内従事者の管理 区域内での墜落、転倒 等による負傷、熱傷等 を伴う汚染・被ばく事 故 | ^{60}Co 、 ^{54}Mn 、 ^{59}Fe 、 ^{51}Cr | 通常は汚染の程度は軽度であ り、外傷、疾病に対する治療 が主体である。内部汚染に対 する治療が必要な場合もあり 得る。 | 原子力発電所内 での事故（労働災 害） | 事業所内従事者の管理 区域内での墜落、転倒 等による負傷、熱傷等 を伴う汚染・被ばく事 故 | ^{60}Co 、 ^{54}Mn 、 ^{59}Fe 、 ^{51}Cr | 通常は汚染の程度は軽度であ り、外傷、疾病に対する治療 が主体である。内部汚染に対 する治療が必要な場合もあり 得る。 | |
| 原子力発電所か らの放射性物質 の放出（原子力災 害） | 炉心損傷により格納容 器から排気筒を通じて 放射性物質が環境中に 放出する | ^{131}I 、 <u>^{137}Cs</u> 、 ^{85}Kr 、 ^{133}Xe | 地域住民に対する放射線防護 対策（屋内退避、避難又は一 時移転、安定ヨウ素剤投与）、 汚染検査、除染、住民の不安 を解消するための説明が必要 である。 | 原子力発電所か らの放射性物質 の放出（原子力災 害） | 炉心損傷により格納容 器から排気筒を通じて 放射性物質が環境中に 放出する | ^{131}I 、 <u>^{137}Cs</u> 、 ^{85}Kr 、 ^{133}Xe | 地域住民に対する放射線防護 対策（屋内退避、避難又は一 時移転、安定ヨウ素剤投与）、 汚染検査、除染、住民の不安 を解消するための説明が必要 である。 | |
| 核燃料の輸送中 の事故 | 輸送容器の破損等の核 燃料（新燃料、使用済燃 料）輸送事故 | ^{235}U 、 ^{238}U 、 ^{239}Pu 、 その他核分裂生 成物 | 内部汚染に対する治療が必要 な場合もあり得る。 | 核燃料の輸送中 の事故 | 輸送容器の破損等の核 燃料（新燃料、使用済燃 料）輸送事故 | ^{235}U 、 ^{238}U 、 ^{239}Pu 、 その他核分裂生 成物 | 内部汚染に対する治療が必要 な場合もあり得る。 | |
| I - 2 - (2) 原子力災害対策重点区域と防護措置の準備・実施 | | | | I - 2 - (2) 原子力災害対策重点区域と防護措置の準備・実施 | | | | |
| ①原子力災害対策重点区域 | | | | ①原子力災害対策重点区域 | | | | |
| ◇予防的防護措置準備区域（PAZ） | | | | ◇予防的防護措置準備区域（PAZ） | | | | |
| 泊発電所から半径概ね5km以内の区域であり、全面緊急事態では原則として全ての住民等 に対して即時避難を実施する。 | | | | 泊発電所から半径概ね5km以内の区域であり、全面緊急事態では原則として全ての住民等 に対して即時避難を実施する。 | | | | |
| ◇緊急時防護措置準備区域（UPZ） | | | | ◇緊急防護措置準備区域（UPZ） | | | | |
| 泊発電所から半径概ね5～30km以内の区域であり、全面緊急事態では屋内退避を行い、モニ タリングポスト等により測定した空間放射線量率に応じて一時移転や避難等の防護措置を行う。 | | | | 泊発電所から半径概ね5～30km以内の区域であり、全面緊急事態では屋内退避を行い、モニ タリングポスト等により測定した空間放射線量率に応じて一時移転や避難等の防護措置を行う。 | | | | |

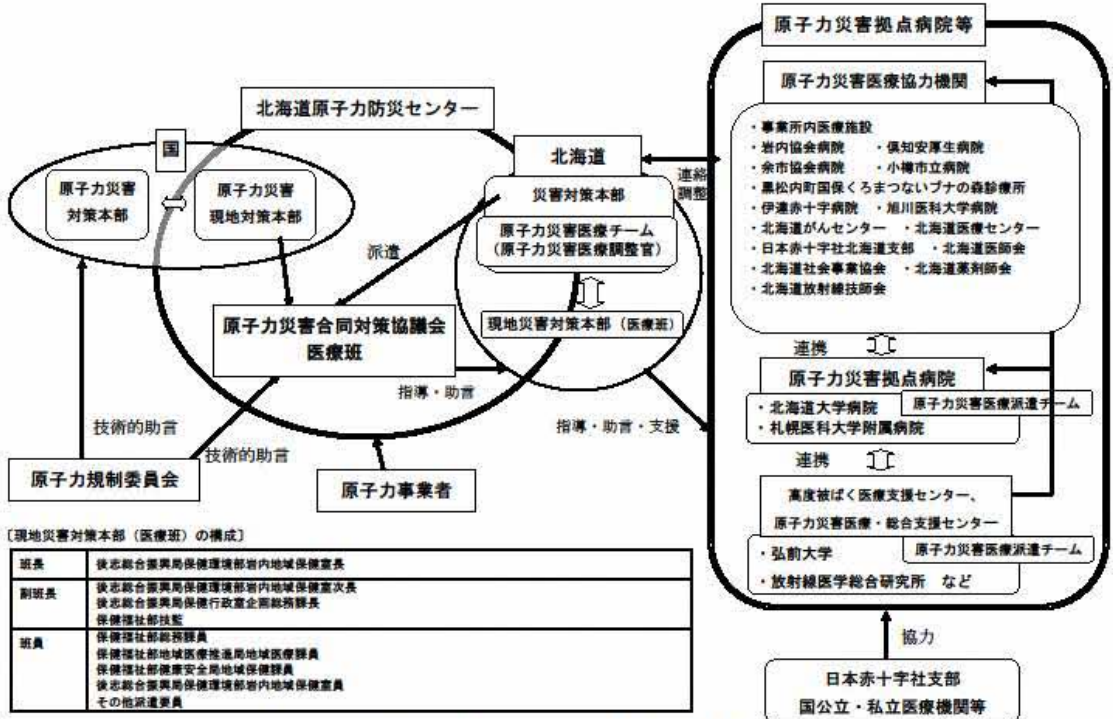
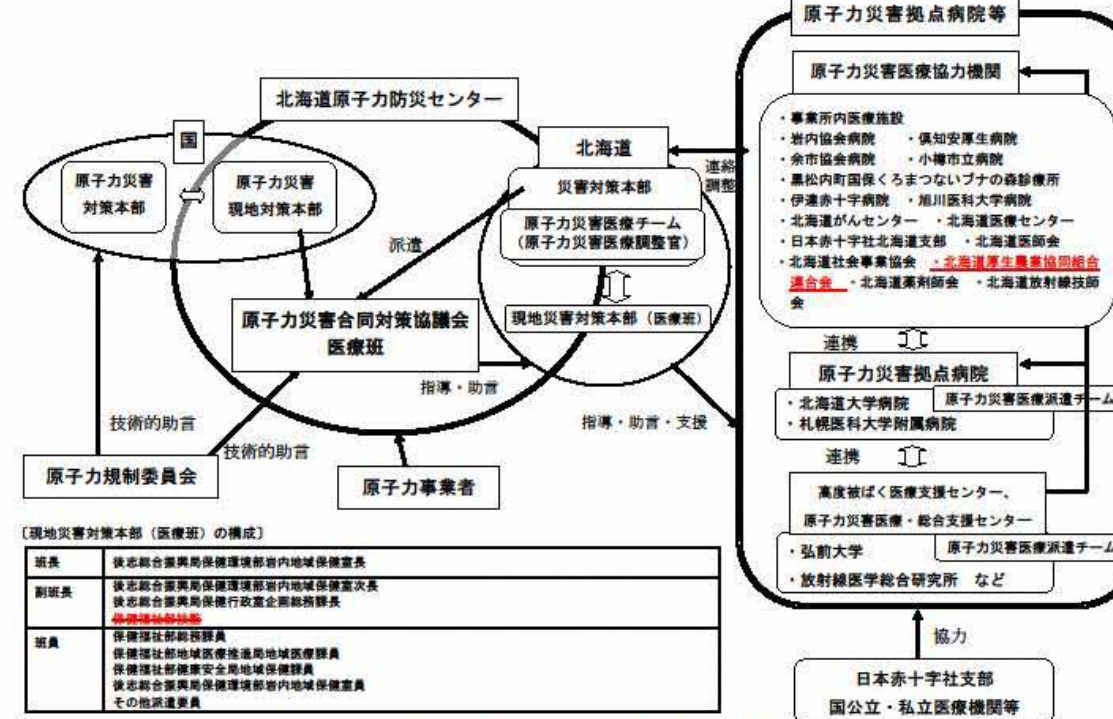
原子力災害医療活動実施要領【新旧対照表（抜粋版）】

| 現 行 | 修 正 案 | 備 考 |
|---|---|-----|
| <p>②緊急事態の区分</p> <p>初期対応段階においては、緊急事態の区分、泊発電所の状況や距離等に応じ、住民等に対する防護措置の準備や実施等を適切に行う。</p> <p>◇警戒事態（警戒事象、EAL（AL））</p> <p>原子力施設における異常事象の発生又はその恐れがあるため、情報収集や緊急時モニタリング、PAZ内の避難行動要支援者等の避難等の準備を開始する。</p> <p>◇施設敷地緊急事態（原災法10条通報：特定事象、EAL（SE））</p> <p>原子力施設において公衆に放射線による影響をもたらす可能性のある事象が生じたため、PAZ内の避難行動要支援者等の避難を実施し、PAZ内のその他住民の避難準備を開始する。また、UPZ内の住民の屋内退避の準備を開始する。</p> <p>◇全面緊急事態（原災法15条通報：原子力緊急事態、EAL（GE））</p> <p>原子力施設において公衆に放射線による影響をもたらす可能性が高い事象が生じたため、PAZ内のすべての住民の避難、UPZ内の住民を屋内退避、安定ヨウ素剤の予防服用等の準備を実施する。</p> <p>I - 3 原子力災害医療の概要</p> <p>原子力災害医療は、次の区分により行う。</p> <p>I - 3 - （1） 原子力発電所における被ばく医療</p> <p>被ばく者等の応急処置とともに、スクリーニングと被ばく線量の推定を行う。その後、除染や汚染拡大防止措置を行い、汚染や被ばくの程度等に応じて、迅速に被ばく者等を原子力災害医療協力機関や原子力災害拠点病院に搬送する。</p> <p>I - 3 - （2） 避難退域時検査場所等で住民等を対象とする対応</p> <p>避難退域時検査場所等では、住民等を対象として、避難退域時検査を行うとともに、必要に応じて脱衣等の簡易除染処置を実施するほか、救護所を設置し、必要な医療対応を行う。</p> <p>I - 3 - （3） 原子力災害拠点病院における医療</p> <p>原子力災害拠点病院においては、以下の医療対応を行う。</p> <p>① 汚染の有無にかかわらず、多発外傷、挫滅症候群、広範囲熱傷等の災害時に多発する重篤な</p> | <p>②緊急事態の区分</p> <p>初期対応段階においては、緊急事態の区分、泊発電所の状況や距離等に応じ、住民等に対する防護措置の準備や実施等を適切に行う。</p> <p>◇警戒事態（警戒事象、EAL（AL））</p> <p>原子力施設における異常事象の発生又はその恐れがあるため、情報収集や緊急時モニタリング、PAZ内の避難行動要支援者等の避難等の準備を開始する。</p> <p>◇施設敷地緊急事態（原災法10条通報：特定事象、EAL（SE））</p> <p>原子力施設において公衆に放射線による影響をもたらす可能性のある事象が生じたため、PAZ内の避難行動要支援者等の避難を実施し、PAZ内のその他住民の避難準備を開始する。また、UPZ内の住民の屋内退避の準備を開始する。</p> <p>◇全面緊急事態（原災法15条通報：原子力緊急事態、EAL（GE））</p> <p>原子力施設において公衆に放射線による影響をもたらす可能性が高い事象が生じたため、PAZ内のすべての住民の避難、UPZ内の住民を屋内退避、安定ヨウ素剤の予防服用等の準備を実施する。</p> <p>I - 3 原子力災害医療の概要</p> <p>原子力災害医療は、次の区分により行う。</p> <p>I - 3 - （1） 原子力発電所における被ばく医療</p> <p>被ばく者等の応急処置とともに、スクリーニングと被ばく線量の推定を行う。その後、除染や汚染拡大防止措置を行い、汚染や被ばくの程度等に応じて、迅速に被ばく者等を原子力災害医療協力機関や原子力災害拠点病院に搬送する。</p> <p>I - 3 - （2） 避難退域時検査場所等で住民等を対象とする対応</p> <p>避難退域時検査場所等では、住民等を対象として、避難退域時検査を行うとともに、必要に応じて脱衣等の簡易除染処置を実施するほか、救護所を設置し、必要な医療対応を行う。</p> <p>I - 3 - （3） 原子力災害拠点病院における医療</p> <p>原子力災害拠点病院においては、以下の医療対応を行う。</p> <p>① 汚染の有無にかかわらず、多発外傷、挫滅症候群、広範囲熱傷等の災害時に多発する重篤な</p> | |

原子力災害医療活動実施要領【新旧対照表（抜粋版）】

| 現 行 | 修 正 案 | 備 考 |
|---|---|-----|
| <p>傷病者に対し高度な診療を提供する。</p> <p>② 汚染を伴う傷病者に対して、線量測定、除染処置を行う。</p> <p>③ 高線量被ばくが疑われる傷病者に対して線量測定を行うとともに、必要な集中治療等の診療を行う。</p> <p>④ 傷病者の数や重症度が対応能力を超える場合、行政機関と連携して他の原子力災害拠点病院、高度被ばく医療支援センター又は原子力災害医療・総合支援センターに患者を搬送する。</p> <p>⑤ 医師、看護師及び放射線防護関係者（診療放射線技師、放射線管理要員等）からなる原子力災害医療派遣チームを保有し、原子力災害時に原子力災害医療・総合支援センターの調整により立地道府県に派遣する。</p> <p>I - 3 - (4) 原子力災害医療協力機関における医療</p> <p>原子力災害医療協力機関は、以下の7項目の業務のうち1つ以上を行う。</p> <p>①被ばく傷病者等の初期診療及び救急診療</p> <p>②被災者の放射性物質による汚染の測定</p> <p>③「原子力災害医療派遣チーム」の保有及び派遣</p> <p>④救護所への医療チーム（又は医療関係者）の派遣</p> <p>⑤避難退域時検査実施のための放射性物質の検査チームの派遣</p> <p>⑥立地道府県等が行う安定ヨウ素剤配布の支援</p> <p>⑦その他の原子力災害発生時に必要な支援</p> <p>原子力災害医療協力機関は、道により図1-1記載の機関が登録されている。</p> <p>I - 3 - (5) 高度被ばく医療支援センター及び原子力災害医療・総合支援センターにおける医療</p> <p>高度被ばく医療支援センターは、原子力災害拠点病院等での診療に専門的助言を与える。また、内部被ばく患者や原子力災害拠点病院で除染困難な傷病者等を受け入れ対応する。さらに、高度被ばく患者に対し高度専門的な個人線量評価を行い関係機関との連携により専門的治療を提供する。高度被ばく医療支援センターは、国により下記の5機関が指定されている。</p> <p>①国立大学法人 弘前大学（以下、弘前大学）</p> <p>②公立大学法人 福島県立医科大学</p> <p>③国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所（以下、放射線医学総合研究所）</p> <p>④国立大学法人 広島大学</p> | <p>傷病者に対し高度な診療を提供する。</p> <p>② 汚染を伴う傷病者に対して、線量測定、除染処置を行う。</p> <p>③ 高線量被ばくが疑われる傷病者に対して線量測定を行うとともに、必要な集中治療等の診療を行う。</p> <p>④ 傷病者の数や重症度が対応能力を超える場合、行政機関と連携して他の原子力災害拠点病院、高度被ばく医療支援センター又は原子力災害医療・総合支援センターに患者を搬送する。</p> <p>⑤ 医師、看護師及び放射線防護関係者（診療放射線技師、放射線管理要員等）からなる原子力災害医療派遣チームを保有し、原子力災害時に原子力災害医療・総合支援センターの調整により立地道府県に派遣する。</p> <p>I - 3 - (4) 原子力災害医療協力機関における医療</p> <p>原子力災害医療協力機関は、以下の7項目の業務のうち1つ以上を行う。</p> <p>①被ばく傷病者等の初期診療及び救急診療</p> <p>②被災者の放射性物質による汚染の測定</p> <p>③「原子力災害医療派遣チーム」の保有及び派遣</p> <p>④救護所への医療チーム（又は医療関係者）の派遣</p> <p>⑤避難退域時検査実施のための放射性物質の検査チームの派遣</p> <p>⑥立地道府県等が行う安定ヨウ素剤配布の支援</p> <p>⑦その他の原子力災害発生時に必要な支援</p> <p>原子力災害医療協力機関は、道により図1-1記載の機関が登録されている。</p> <p>I - 3 - (5) 高度被ばく医療支援センター及び原子力災害医療・総合支援センターにおける医療</p> <p>高度被ばく医療支援センターは、原子力災害拠点病院等での診療に専門的助言を与える。また、内部被ばく患者や原子力災害拠点病院で除染困難な傷病者等を受け入れ対応する。さらに、高度被ばく患者に対し高度専門的な個人線量評価を行い関係機関との連携により専門的治療を提供する。高度被ばく医療支援センターは、国により下記の5機関が指定されている。</p> <p>①国立大学法人 弘前大学（以下、弘前大学）</p> <p>②公立大学法人 福島県立医科大学</p> <p>③国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所（以下、放射線医学総合研究所）</p> <p>④国立大学法人 広島大学</p> | |

原子力災害医療活動実施要領【新旧対照表（抜粋版）】

| 現 行 | 修 正 案 | 備 考 |
|--|---|-----|
| <p>⑤国立大学法人 長崎大学</p> <p>原子力災害医療・総合支援センターは、平時から原子力災害拠点病院、原子力災害医療派遣チームの情報等を収集し、関係者と情報共有する。原子力災害時には、立地道府県等からの派遣要請に基づき、他地域の原子力災害医療派遣チームの派遣調整を行うとともに、現地情報の提供等の活動支援を行う。</p> <p>原子力災害医療・総合センターは、国により下記の4機関が指定されており、それぞれの担当地域も決められている。北海道は、弘前大学の担当区域となっている。</p> <p>② 弘前大学 ② 公立大学法人 福島県立医科大学 ③ 国立大学法人 広島大学 ④ 国立大学法人 長崎大学</p>  <p>図1-1 原子力災害医療体制の枠組み</p> | <p>⑤国立大学法人 長崎大学</p> <p>原子力災害医療・総合支援センターは、平時から原子力災害拠点病院、原子力災害医療派遣チームの情報等を収集し、関係者と情報共有する。原子力災害時には、立地道府県等からの派遣要請に基づき、他地域の原子力災害医療派遣チームの派遣調整を行うとともに、現地情報の提供等の活動支援を行う。</p> <p>原子力災害医療・総合センターは、国により下記の4機関が指定されており、それぞれの担当地域も決められている。北海道は、弘前大学の担当区域となっている。</p> <p>① 弘前大学 ② 公立大学法人 福島県立医科大学 ③ 国立大学法人 広島大学 ④ 国立大学法人 長崎大学</p>  <p>図1-1 原子力災害医療体制の枠組み</p> | |

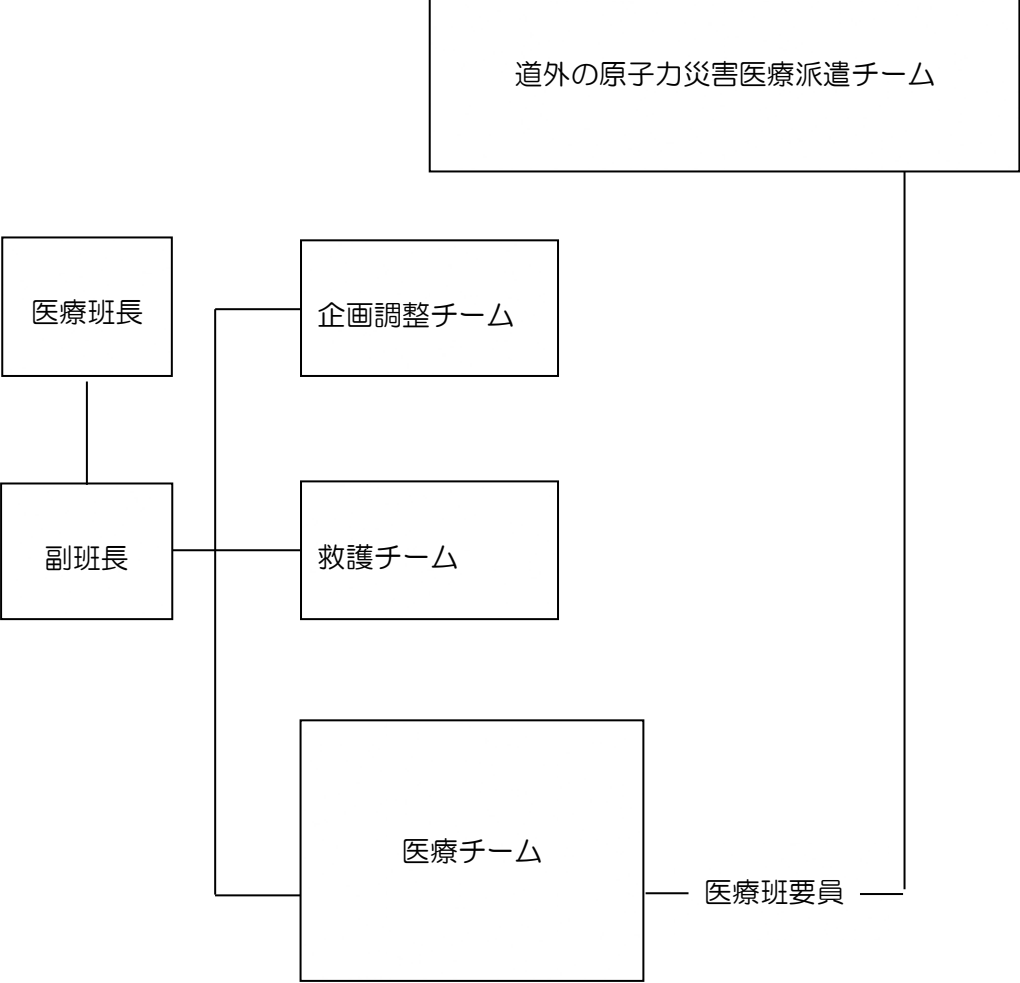
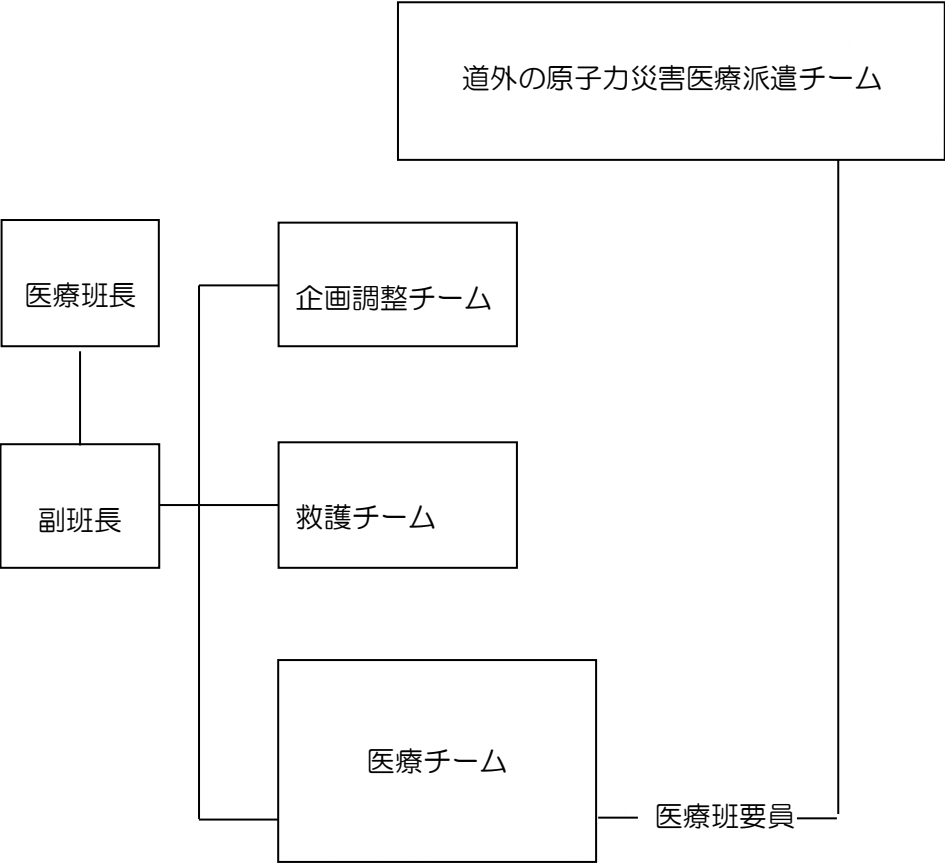
原子力災害医療活動実施要領【新旧対照表（抜粋版）】

| 現 行 | 修 正 案 | 備 考 |
|--|--|-----|
| <p style="text-align: center;">図1-2 原子力災害医療処置のフローチャート</p> | <p style="text-align: center;">図1-2 原子力災害医療処置のフローチャート</p> | |

原子力災害医療活動実施要領【新旧対照表（抜粋版）】

| 現 行 | 修 正 案 | 備 考 |
|---|---|-----|
| <p style="text-align: center;">(略)</p> <p>Ⅲ 原子力災害時に避難退域時検査場所等において住民に対応する 場合</p> <hr/> <p>Ⅲ - 1 原子力災害時に避難退域時検査場所等において住民に対応する場合</p> <ul style="list-style-type: none"> 放射性物質が環境中に放出する事故、いわゆる原子力災害が発生した場合、例えば施設敷地緊急事態ではPAZ内の避難行動要支援者等は避難を、その他の住民は避難の準備を行う。また、全面緊急事態ではPAZ内のすべての住民は避難を、UPZ内の住民は屋内退避を行う。 さらに、国または地方公共団体の指示によりUPZ内の住民が避難または一時移転を行う場合、汚染状況を確認し、必要な住民等に簡易除染を行う目的で、避難退域時検査を行う。 避難退域時検査活動については、Ⅲ - 3を参照。 避難退域時検査場所その他必要と認められる場所については救護所を設置し、そこで医療活動を行う。 なお、その際、原子力災害医療協力機関や原子力災害拠点病院等への搬送が必要と認められる傷病者等が確認された場合は、当該機関に速やかに搬送するものとする。 <p>Ⅲ - 2 医療班の体制</p> <p>Ⅲ - 2 - (1) 医療班の設置等</p> <p>①医療班の設置</p> <p>道は、第2非常配備体制（警戒事態発生）をとった場合、オフサイトセンターに現地警戒本部の医療班を設置し、医療機関等の関係者からなる医療チーム、救護チーム等により、原子力災害に備え、避難退域時検査、除染、治療等の原子力災害医療活動を実施するための準備を行うものとする。</p> <p>北海道における原子力災害医療体制は、図3-1及び図3-2のとおりである。</p> <p>②関係機関等への協力要請</p> <p>医療班長は、医療チーム等の設置に当たり、原子力災害医療協力機関に対し医師、看護師、薬剤師、診療放射線技師等の医療要員の派遣及び薬剤、医療機器等の提供を要請するものとする。また、避難退域時検査の支援のため、原子力事業者及び防災関係機関に対し、サーバイメータ類の取り扱</p> | <p style="text-align: center;">(略)</p> <p>Ⅲ 原子力災害時に避難退域時検査場所等において住民に対応する 場合</p> <hr/> <p>Ⅲ - 1 原子力災害時に避難退域時検査場所等において住民に対応する場合</p> <ul style="list-style-type: none"> 放射性物質が環境中に放出する事故、いわゆる原子力災害が発生した場合、例えば施設敷地緊急事態ではPAZ内の避難行動要支援者等は避難を、その他の住民は避難の準備を行う。また、全面緊急事態ではPAZ内のすべての住民は避難を、UPZ内の住民は屋内退避を行う。 さらに、国または地方公共団体の指示によりUPZ内の住民が避難または一時移転を行う場合、汚染状況を確認し、必要な住民等に簡易除染を行う目的で、避難退域時検査を行う。 避難退域時検査活動については、Ⅲ - 3を参照。 避難退域時検査場所その他必要と認められる場所については救護所を設置し、そこで医療活動を行う。 なお、その際、原子力災害医療協力機関や原子力災害拠点病院等への搬送が必要と認められる傷病者等が確認された場合は、当該機関に速やかに搬送するものとする。 <p>Ⅲ - 2 原子力災害医療の体制</p> <p>Ⅲ - 2 - (1) 原子力災害医療調整官の設置</p> <p>①原子力災害医療調整官の設置</p> <p><u>道は、第2非常配備体制（警戒事態発生）をとった場合、警戒本部に原子力災害医療調整官を長とするグループを設置し、医療機関、消防機関等に対して搬送する患者の汚染や、推定被ばく線量に基づいてその搬送先や受入を指示する。</u></p> <p>②他の立地道府県等への協力要請</p> <p><u>原子力災害医療調整官は、必要に応じて、他の立地道府県等に対して派遣チームの派遣要請を行い、立地道府県等内の原子力災害拠点病院等へ派遣する。</u></p> <p>Ⅲ - 2 - (2) 医療班の設置</p> <p>①医療班の設置</p> <p>道は、第2非常配備体制（警戒事態発生）をとった場合、オフサイトセンターに現地警戒本部の</p> | |

原子力災害医療活動実施要領【新旧対照表（抜粋版）】

| 現 行 | 修 正 案 | 備 考 |
|--|--|-----|
| <p>いに習熟している要員等の派遣を要請する。</p> <p>③医療班の組織</p> <p>医療班の組織は、次のとおりとする。</p> <p>医療班の組織図</p>  | <p>医療班を設置し、医療機関等の関係者からなる医療チーム、救護チーム等により、原子力災害に備え、避難退域時検査、除染、治療等の原子力災害医療活動を実施するための準備を行うものとする。</p> <p>北海道における原子力災害医療体制は、図3-1及び図3-2のとおりである。</p> <p>②関係機関等への協力要請</p> <p>医療班長は、医療チーム等の設置に当たり、原子力災害医療協力機関に対し医師、看護師、薬剤師、診療放射線技師等の医療要員の派遣及び薬剤、医療機器等の提供を要請するものとする。また、避難退域時検査の支援のため、原子力事業者及び防災関係機関に対し、サーバイメータ類の取り扱いに習熟している要員等の派遣を要請する。</p> <p>③医療班の組織</p> <p>医療班の組織は、次のとおりとする。</p> <p>医療班の組織図</p>  | |

原子力災害医療活動実施要領【新旧対照表（抜粋版）】

| 現 行 | 修 正 案 | 備考 |
|---|---|----|
| <p style="text-align: center;">図3-1 原子力災害医療体制</p> <p style="text-align: center;">図3-1 原子力災害医療体制</p> <p>1. 原子力災害医療活動実施のための情報収集 2. 原子力災害医療活動実施に係る調整 3. 原子力災害医療活動に関する情報の収集及び連絡 4. 避難退域時検査場所及び避難所等に救護所を開設</p> <p>1. 避難退域時検査場所等の救護所を運営 2. 一般傷病者に対する医療活動の実施 3. 避難退域時検査場所における住民等に対する検査、簡易除染および原子力災害拠点病院への搬送準備</p> <p>初期診療</p> <p>総量測定、除染処置及び専門的な医療対応（必要に応じて入院診療）</p> <p>高度専門的な除染及び治療</p> <p>(注) 1. 被ばく者等の原子力災害医療機関への搬送は、UPZ内の消防本部等の救急車または北海道電力の事業者等を用いる。 2. 被ばく者等の原子力災害拠点病院への搬送は、陸路の場合はUPZ内の消防本部等の救急車または、北電(株)の事業者等を用いる。空路の場合は道防災航空室の防災ヘリ等、札幌市消防局の救急隊（丘珠空港等を経由する場合）を用いる。なお、天候等の理由によりヘリが飛べない状況で、複数の傷病者が発生した場合などには、必要に応じ、他の消防から応援を受け、可能な限り迅速に対応することとする。 3. 被ばく者等の高度被ばく医療支援センター、原子力災害医療・総合支援センターへの被ばく者等搬送は、自衛隊の航空機等を活用して行う。</p> | <p style="text-align: center;">図3-1 原子力災害医療体制</p> <p style="text-align: center;">図3-1 原子力災害医療体制</p> <p>1. 原子力災害医療活動実施のための情報収集 2. 原子力災害医療活動実施に係る調整 3. 原子力災害医療活動に関する情報の収集及び連絡 4. 避難退域時検査場所及び避難所等に救護所を開設</p> <p>1. 避難退域時検査場所等の救護所を運営 2. 一般傷病者に対する医療活動の実施 3. 避難退域時検査場所における住民等に対する検査、簡易除染および原子力災害拠点病院への搬送準備</p> <p>初期診療</p> <p>総量測定、除染処置及び専門的な医療対応（必要に応じて入院診療）</p> <p>高度専門的な除染及び治療</p> <p>(注) 1. 被ばく者等の原子力災害医療機関への搬送は、UPZ内の消防本部等の救急車または北海道電力の事業者等を用いる。 2. 被ばく者等の原子力災害拠点病院への搬送は、陸路の場合はUPZ内の消防本部等の救急車または、北電(株)の事業者等を用いる。空路の場合は道防災航空室の防災ヘリ等、札幌市消防局の救急隊（丘珠空港等を経由する場合）を用いる。なお、天候等の理由によりヘリが飛べない状況で、複数の傷病者が発生した場合などには、必要に応じ、他の消防から応援を受け、可能な限り迅速に対応することとする。 3. 被ばく者等の高度被ばく医療支援センター、原子力災害医療・総合支援センターへの被ばく者等搬送は、自衛隊の航空機等を活用して行う。</p> | |

原子力災害医療活動実施要領【新旧対照表（抜粋版）】

| 現 行 | 修 正 案 | 備 考 |
|--|--|-----|
| <p style="text-align: center;">図3-2 原子力災害医療活動実施連絡系統図</p> <p style="text-align: center;">図 3-2 原子力災害医療活動連絡系統図</p> <p style="text-align: center;"> 人員の派遣: ——— 運 送: ——— 移 送: ——— </p> | <p style="text-align: center;">図3-2 原子力災害医療活動実施連絡系統図</p> <p style="text-align: center;">図 3-2 原子力災害医療活動連絡系統図</p> <p style="text-align: center;"> 人員の派遣: ——— 運 送: ——— 移 送: ——— </p> | |

原子力災害医療活動実施要領【新旧対照表（抜粋版）】

| 現 行 | 修 正 案 | 備 考 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---|---|-------|---------|--|---|--------|------------------------------------|---|--------|---|--|-----|-----|---------|-------|-------|-----|-----|--|--|--|--|--|-------|---|---|---|---|---|-------|---|---|---|---|---|--|------|---------|-----|---------|--|---|--------|------------------------------------|---|--------|---|--|-----|-----|---------|-------|-------|-----|-----|--|--|--|--|--|-------|---|---|---|---|---|-------|---|---|---|---|---|--|
| <p>Ⅲ - 2 - (2) 医療班各チームの編成基準及び業務</p> <p>医療班の業務は、次のとおりとする。</p> <p>①医療班長は、医療班を指揮し、原子力災害医療活動業務を総括する。</p> <p>②副班長は、医療班長を補佐するとともに、医療班長に事故がある時は、その職務を代行する。</p> <p>③各チームの責任者は、医療班長の指名を受け、医療班長の指示に基づきチーム員を指導し、それぞれのチーム所掌にかかる業務を総括する。</p> <p>④各チームの編成基準及び業務</p> <table border="1" data-bbox="273 699 1350 1434"> <thead> <tr> <th>チーム名</th> <th>編 成 基 準</th> <th>業 務</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>企画調整チーム</td> <td>主として北海道保健福祉部職員によって編成し、道外の原子力災害医療派遣チームの助言を得る。</td> <td>1 原子力災害医療活動実施のための情報収集 2 原子力災害医療活動実施に係る諸調整 3 原子力災害医療活動に関する情報の収集及び連絡 4 避難退域時検査場所等に救護所を開設</td> </tr> <tr> <td>救 護チーム</td> <td>派遣される医療機関毎に編成し、チーム数は災害の態様によって決定する。</td> <td>1 避難退域時検査場所等の救護所を運営 2 一般傷病者に対する医療活動の実施</td> </tr> <tr> <td>医 療チーム</td> <td>放射線医療に従事する医師、看護師等によって編成し、道外の原子力災害医療派遣チームの助言を得る。</td> <td>避難退域時検査場所等における住民等に対する検査、簡易除染及び原子力災害拠点病院等への搬送準備</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 救急搬送は、消防機関の救急隊員等が当たる。</p> <p>⑤チーム標準編成人員</p> <table border="1" data-bbox="240 1539 1317 1854"> <thead> <tr> <th>職 種</th> <th>医 師</th> <th>診療放射線技師</th> <th>看 護 師</th> <th>事 務 員</th> <th>合 計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>チーム</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>救護チーム</td> <td>1</td> <td>—</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>医療チーム</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table> | チーム名 | 編 成 基 準 | 業 務 | 企画調整チーム | 主として北海道保健福祉部職員によって編成し、道外の原子力災害医療派遣チームの助言を得る。 | 1 原子力災害医療活動実施のための情報収集 2 原子力災害医療活動実施に係る諸調整 3 原子力災害医療活動に関する情報の収集及び連絡 4 避難退域時検査場所等に救護所を開設 | 救 護チーム | 派遣される医療機関毎に編成し、チーム数は災害の態様によって決定する。 | 1 避難退域時検査場所等の救護所を運営 2 一般傷病者に対する医療活動の実施 | 医 療チーム | 放射線医療に従事する医師、看護師等によって編成し、道外の原子力災害医療派遣チームの助言を得る。 | 避難退域時検査場所等における住民等に対する検査、簡易除染及び原子力災害拠点病院等への搬送準備 | 職 種 | 医 師 | 診療放射線技師 | 看 護 師 | 事 務 員 | 合 計 | チーム | | | | | | 救護チーム | 1 | — | 2 | 1 | 4 | 医療チーム | 1 | 1 | 2 | 1 | 5 | <p>Ⅲ - 2 - (2) 医療班各チームの編成基準及び業務</p> <p>医療班の業務は、次のとおりとする。</p> <p>①医療班長は、医療班を指揮し、原子力災害医療活動業務を総括する。</p> <p>②副班長は、医療班長を補佐するとともに、医療班長に事故がある時は、その職務を代行する。</p> <p>③各チームの責任者は、医療班長の指名を受け、医療班長の指示に基づきチーム員を指導し、それぞれのチーム所掌にかかる業務を総括する。</p> <p>④各チームの編成基準及び業務</p> <table border="1" data-bbox="1504 684 2582 1419"> <thead> <tr> <th>チーム名</th> <th>編 成 基 準</th> <th>業 務</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>企画調整チーム</td> <td>主として北海道保健福祉部職員によって編成し、道外の原子力災害医療派遣チームの助言を得る。</td> <td>1 原子力災害医療活動実施のための情報収集 2 原子力災害医療活動実施に係る諸調整 3 原子力災害医療活動に関する情報の収集及び連絡 4 避難退域時検査場所等に救護所を開設</td> </tr> <tr> <td>救 護チーム</td> <td>派遣される医療機関毎に編成し、チーム数は災害の態様によって決定する。</td> <td>1 避難退域時検査場所等の救護所を運営 2 一般傷病者に対する医療活動の実施</td> </tr> <tr> <td>医 療チーム</td> <td>放射線医療に従事する医師、看護師等によって編成し、道外の原子力災害医療派遣チームの助言を得る。</td> <td>避難退域時検査場所等における住民等に対する検査、簡易除染及び原子力災害拠点病院等への搬送準備</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 救急搬送は、消防機関の救急隊員等が当たる。</p> <p>⑤チーム標準編成人員</p> <table border="1" data-bbox="1472 1524 2549 1839"> <thead> <tr> <th>職 種</th> <th>医 師</th> <th>診療放射線技師</th> <th>看 護 師</th> <th>事 務 員</th> <th>合 計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>チーム</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>救護チーム</td> <td>1</td> <td>—</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>医療チーム</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table> | チーム名 | 編 成 基 準 | 業 務 | 企画調整チーム | 主として北海道保健福祉部職員によって編成し、道外の原子力災害医療派遣チームの助言を得る。 | 1 原子力災害医療活動実施のための情報収集 2 原子力災害医療活動実施に係る諸調整 3 原子力災害医療活動に関する情報の収集及び連絡 4 避難退域時検査場所等に救護所を開設 | 救 護チーム | 派遣される医療機関毎に編成し、チーム数は災害の態様によって決定する。 | 1 避難退域時検査場所等の救護所を運営 2 一般傷病者に対する医療活動の実施 | 医 療チーム | 放射線医療に従事する医師、看護師等によって編成し、道外の原子力災害医療派遣チームの助言を得る。 | 避難退域時検査場所等における住民等に対する検査、簡易除染及び原子力災害拠点病院等への搬送準備 | 職 種 | 医 師 | 診療放射線技師 | 看 護 師 | 事 務 員 | 合 計 | チーム | | | | | | 救護チーム | 1 | — | 2 | 1 | 4 | 医療チーム | 1 | 1 | 2 | 1 | 5 | |
| チーム名 | 編 成 基 準 | 業 務 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 企画調整チーム | 主として北海道保健福祉部職員によって編成し、道外の原子力災害医療派遣チームの助言を得る。 | 1 原子力災害医療活動実施のための情報収集 2 原子力災害医療活動実施に係る諸調整 3 原子力災害医療活動に関する情報の収集及び連絡 4 避難退域時検査場所等に救護所を開設 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 救 護チーム | 派遣される医療機関毎に編成し、チーム数は災害の態様によって決定する。 | 1 避難退域時検査場所等の救護所を運営 2 一般傷病者に対する医療活動の実施 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 医 療チーム | 放射線医療に従事する医師、看護師等によって編成し、道外の原子力災害医療派遣チームの助言を得る。 | 避難退域時検査場所等における住民等に対する検査、簡易除染及び原子力災害拠点病院等への搬送準備 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 職 種 | 医 師 | 診療放射線技師 | 看 護 師 | 事 務 員 | 合 計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| チーム | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 救護チーム | 1 | — | 2 | 1 | 4 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 医療チーム | 1 | 1 | 2 | 1 | 5 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| チーム名 | 編 成 基 準 | 業 務 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 企画調整チーム | 主として北海道保健福祉部職員によって編成し、道外の原子力災害医療派遣チームの助言を得る。 | 1 原子力災害医療活動実施のための情報収集 2 原子力災害医療活動実施に係る諸調整 3 原子力災害医療活動に関する情報の収集及び連絡 4 避難退域時検査場所等に救護所を開設 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 救 護チーム | 派遣される医療機関毎に編成し、チーム数は災害の態様によって決定する。 | 1 避難退域時検査場所等の救護所を運営 2 一般傷病者に対する医療活動の実施 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 医 療チーム | 放射線医療に従事する医師、看護師等によって編成し、道外の原子力災害医療派遣チームの助言を得る。 | 避難退域時検査場所等における住民等に対する検査、簡易除染及び原子力災害拠点病院等への搬送準備 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 職 種 | 医 師 | 診療放射線技師 | 看 護 師 | 事 務 員 | 合 計 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| チーム | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 救護チーム | 1 | — | 2 | 1 | 4 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 医療チーム | 1 | 1 | 2 | 1 | 5 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

原子力災害医療活動実施要領【新旧対照表（抜粋版）】

| 現 行 | 修 正 案 | 備 考 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---|--|--|-------|---|--|---------|---------|--------|---------|---|---|-------|---|------------------------|-----|--|----|-------|---|--|-----|--|----|--------------------|--------------------|--|---|---------|-------------------------|--|-------|--|--|---------|---------|--------|---------|---|---|-------|---|------------------------|-----|--|----|-------|---|--|-----|--|----|--------------------|--------------------|--|--|
| <p>(注) 1. 医療チームにおける検査等には、原子力事業者から派遣される放射線測定要員等が加わる。 2. 企画調整チームは、⑥の編成機関から各1名以上。</p> <p>⑥チーム編成</p> <table border="1" data-bbox="216 443 1299 1772"> <thead> <tr> <th data-bbox="216 443 596 485">医 療 班 長</th> <td colspan="2" data-bbox="596 443 1299 485">北海道後志総合振興局保健環境部岩内地域保健室長</td> </tr> <tr> <th data-bbox="216 485 596 590">副 班 長</th> <td colspan="2" data-bbox="596 485 1299 590">北海道後志総合振興局保健環境部岩内地域保健室次長 北海道後志総合振興局保健環境部保健行政室長 北海道保健福祉部技監</td> </tr> <tr> <th data-bbox="216 590 596 653">チ ャーム 名</th> <th data-bbox="596 590 1160 653">編 成 機 関</th> <th data-bbox="1160 590 1299 653">チ ャーム数</th> </tr> <tr> <th data-bbox="216 653 596 919">企画調整チーム</th> <td data-bbox="596 653 1160 919">北海道保健福祉部総務課 // // 地域医療推進局地域医療課 // // 健康安全局地域保健課 // 後志総合振興局保健環境部 岩内地域保健室</td> <td data-bbox="1160 653 1299 919">1</td> </tr> <tr> <th data-bbox="216 919 596 1163">救護チーム</th> <td data-bbox="596 919 1160 1163">北海道後志総合振興局保健環境部保健行政室 // 胆振総合振興局保健環境部保健行政室 // 胆振総合振興局保健環境部 苫小牧地域保健室 (一社)北海道医師会 災害拠点病院</td> <td data-bbox="1160 919 1299 1163">1 1 1 2 26</td> </tr> <tr> <th colspan="2" data-bbox="216 1163 1160 1205">合 計</th> <td data-bbox="1160 1163 1299 1205">31</td> </tr> <tr> <th data-bbox="216 1205 596 1696">医療チーム</th> <td data-bbox="596 1205 1160 1696">北海道大学病院 旭川医科大学病院 札幌医科大学附属病院 国立病院機構北海道がんセンター // 北海道医療センター 旭川赤十字病院 伊達赤十字病院 JA北海道厚生連倶知安厚生病院 北海道社会事業協会小樽病院 // 岩内病院 // 余市病院 市立小樽病院 (一社)北海道放射線技師会 原子力事業者(放射線測定要員等)</td> <td data-bbox="1160 1205 1299 1696">1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 (14名)</td> </tr> <tr> <th colspan="2" data-bbox="216 1696 1160 1738">合 計</th> <td data-bbox="1160 1696 1299 1738">13</td> </tr> <tr> <th data-bbox="216 1738 596 1772">道外の原子力災害医療派遣チ ム</th> <td data-bbox="596 1738 1160 1772">弘前大学、放射線医学総合研究所 ほか</td> <td data-bbox="1160 1738 1299 1772"></td> </tr> </thead></table> | 医 療 班 長 | 北海道後志総合振興局保健環境部岩内地域保健室長 | | 副 班 長 | 北海道後志総合振興局保健環境部岩内地域保健室次長 北海道後志総合振興局保健環境部保健行政室長 北海道保健福祉部技監 | | チ ャーム 名 | 編 成 機 関 | チ ャーム数 | 企画調整チーム | 北海道保健福祉部総務課 // // 地域医療推進局地域医療課 // // 健康安全局地域保健課 // 後志総合振興局保健環境部 岩内地域保健室 | 1 | 救護チーム | 北海道後志総合振興局保健環境部保健行政室 // 胆振総合振興局保健環境部保健行政室 // 胆振総合振興局保健環境部 苫小牧地域保健室 (一社)北海道医師会 災害拠点病院 | 1 1 1 2 26 | 合 計 | | 31 | 医療チーム | 北海道大学病院 旭川医科大学病院 札幌医科大学附属病院 国立病院機構北海道がんセンター // 北海道医療センター 旭川赤十字病院 伊達赤十字病院 JA北海道厚生連倶知安厚生病院 北海道社会事業協会小樽病院 // 岩内病院 // 余市病院 市立小樽病院 (一社)北海道放射線技師会 原子力事業者(放射線測定要員等) | 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 (14名) | 合 計 | | 13 | 道外の原子力災害医療派遣チ ム | 弘前大学、放射線医学総合研究所 ほか | | <p>(注) 1. 医療チームにおける検査等には、原子力事業者から派遣される放射線測定要員等が加わる。 2. 企画調整チームは、⑥の編成機関から各1名以上。</p> <p>⑥チーム編成</p> <table border="1" data-bbox="1448 443 2531 1772"> <thead> <tr> <th data-bbox="1448 443 1828 485">医 療 班 長</th> <td colspan="2" data-bbox="1828 443 2531 485">北海道後志総合振興局保健環境部岩内地域保健室長</td> </tr> <tr> <th data-bbox="1448 485 1828 590">副 班 長</th> <td colspan="2" data-bbox="1828 485 2531 590">北海道後志総合振興局保健環境部岩内地域保健室次長 北海道後志総合振興局保健環境部保健行政室長 北海道保健福祉部技監</td> </tr> <tr> <th data-bbox="1448 590 1828 653">チ ャーム 名</th> <th data-bbox="1828 590 2392 653">編 成 機 関</th> <th data-bbox="2392 590 2531 653">チ ャーム数</th> </tr> <tr> <th data-bbox="1448 653 1828 919">企画調整チーム</th> <td data-bbox="1828 653 2392 919">北海道保健福祉部総務課 // // 地域医療推進局地域医療課 // // 健康安全局地域保健課 // 後志総合振興局保健環境部 岩内地域保健室</td> <td data-bbox="2392 653 2531 919">1</td> </tr> <tr> <th data-bbox="1448 919 1828 1163">救護チーム</th> <td data-bbox="1828 919 2392 1163">北海道後志総合振興局保健環境部保健行政室 // 胆振総合振興局保健環境部保健行政室 // 胆振総合振興局保健環境部 苫小牧地域保健室 (一社)北海道医師会 災害拠点病院</td> <td data-bbox="2392 919 2531 1163">1 1 1 2 26</td> </tr> <tr> <th colspan="2" data-bbox="1448 1163 1828 1205">合 計</th> <td data-bbox="2392 1163 2531 1205">31</td> </tr> <tr> <th data-bbox="1448 1205 1828 1696">医療チーム</th> <td data-bbox="1828 1205 2392 1696">北海道大学病院 旭川医科大学病院 札幌医科大学附属病院 国立病院機構北海道がんセンター // 北海道医療センター 旭川赤十字病院 伊達赤十字病院 JA北海道厚生連倶知安厚生病院 北海道社会事業協会小樽病院 // 岩内病院 // 余市病院 市立小樽病院 (一社)北海道放射線技師会 原子力事業者(放射線測定要員等)</td> <td data-bbox="2392 1205 2531 1696">1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 (14名)</td> </tr> <tr> <th colspan="2" data-bbox="1448 1696 1828 1738">合 計</th> <td data-bbox="2392 1696 2531 1738">13</td> </tr> <tr> <th data-bbox="1448 1738 1828 1772">道外の原子力災害医療派遣チ ム</th> <td data-bbox="1828 1738 2392 1772">弘前大学、放射線医学総合研究所 ほか</td> <td data-bbox="2392 1738 2531 1772"></td> </tr> </thead></table> | 医 療 班 長 | 北海道後志総合振興局保健環境部岩内地域保健室長 | | 副 班 長 | 北海道後志総合振興局保健環境部岩内地域保健室次長 北海道後志総合振興局保健環境部保健行政室長 北海道保健福祉部技監 | | チ ャーム 名 | 編 成 機 関 | チ ャーム数 | 企画調整チーム | 北海道保健福祉部総務課 // // 地域医療推進局地域医療課 // // 健康安全局地域保健課 // 後志総合振興局保健環境部 岩内地域保健室 | 1 | 救護チーム | 北海道後志総合振興局保健環境部保健行政室 // 胆振総合振興局保健環境部保健行政室 // 胆振総合振興局保健環境部 苫小牧地域保健室 (一社)北海道医師会 災害拠点病院 | 1 1 1 2 26 | 合 計 | | 31 | 医療チーム | 北海道大学病院 旭川医科大学病院 札幌医科大学附属病院 国立病院機構北海道がんセンター // 北海道医療センター 旭川赤十字病院 伊達赤十字病院 JA北海道厚生連倶知安厚生病院 北海道社会事業協会小樽病院 // 岩内病院 // 余市病院 市立小樽病院 (一社)北海道放射線技師会 原子力事業者(放射線測定要員等) | 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 (14名) | 合 計 | | 13 | 道外の原子力災害医療派遣チ ム | 弘前大学、放射線医学総合研究所 ほか | | |
| 医 療 班 長 | 北海道後志総合振興局保健環境部岩内地域保健室長 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 副 班 長 | 北海道後志総合振興局保健環境部岩内地域保健室次長 北海道後志総合振興局保健環境部保健行政室長 北海道保健福祉部技監 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| チ ャーム 名 | 編 成 機 関 | チ ャーム数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 企画調整チーム | 北海道保健福祉部総務課 // // 地域医療推進局地域医療課 // // 健康安全局地域保健課 // 後志総合振興局保健環境部 岩内地域保健室 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 救護チーム | 北海道後志総合振興局保健環境部保健行政室 // 胆振総合振興局保健環境部保健行政室 // 胆振総合振興局保健環境部 苫小牧地域保健室 (一社)北海道医師会 災害拠点病院 | 1 1 1 2 26 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合 計 | | 31 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 医療チーム | 北海道大学病院 旭川医科大学病院 札幌医科大学附属病院 国立病院機構北海道がんセンター // 北海道医療センター 旭川赤十字病院 伊達赤十字病院 JA北海道厚生連倶知安厚生病院 北海道社会事業協会小樽病院 // 岩内病院 // 余市病院 市立小樽病院 (一社)北海道放射線技師会 原子力事業者(放射線測定要員等) | 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 (14名) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合 計 | | 13 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 道外の原子力災害医療派遣チ ム | 弘前大学、放射線医学総合研究所 ほか | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 医 療 班 長 | 北海道後志総合振興局保健環境部岩内地域保健室長 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 副 班 長 | 北海道後志総合振興局保健環境部岩内地域保健室次長 北海道後志総合振興局保健環境部保健行政室長 北海道保健福祉部技監 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| チ ャーム 名 | 編 成 機 関 | チ ャーム数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 企画調整チーム | 北海道保健福祉部総務課 // // 地域医療推進局地域医療課 // // 健康安全局地域保健課 // 後志総合振興局保健環境部 岩内地域保健室 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 救護チーム | 北海道後志総合振興局保健環境部保健行政室 // 胆振総合振興局保健環境部保健行政室 // 胆振総合振興局保健環境部 苫小牧地域保健室 (一社)北海道医師会 災害拠点病院 | 1 1 1 2 26 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合 計 | | 31 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 医療チーム | 北海道大学病院 旭川医科大学病院 札幌医科大学附属病院 国立病院機構北海道がんセンター // 北海道医療センター 旭川赤十字病院 伊達赤十字病院 JA北海道厚生連倶知安厚生病院 北海道社会事業協会小樽病院 // 岩内病院 // 余市病院 市立小樽病院 (一社)北海道放射線技師会 原子力事業者(放射線測定要員等) | 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 (14名) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合 計 | | 13 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 道外の原子力災害医療派遣チ ム | 弘前大学、放射線医学総合研究所 ほか | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>※ 各編成機関に対しては、災害発生時にその状況に応じて派遣を要請する。 ※ 災の状況等により上記の機関で医療班の編成が困難な場合は、陸上自衛隊に要員派遣を要請する。</p> | <p>※ 各編成機関に対しては、災害発生時にその状況に応じて派遣を要請する。 ※ 災の状況等により上記の機関で医療班の編成が困難な場合は、陸上自衛隊に要員派遣を要請する。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

原子力災害医療活動実施要領【新旧対照表（抜粋版）】

| 現 行 | 修 正 案 | 備 考 | | | | | | | | | | | | |
|---|--|------------|-----------|------------|-------------|--|---|-------|------------|-----------|------------|-------------|--|--|
| <p style="text-align: center;">(略)</p> <p>V 安定ヨウ素剤の取扱い</p> <hr/> <p>V - 1 安定ヨウ素剤服用の目的・意義</p> <ul style="list-style-type: none"> • 運転中や停止直後の原子力発電所等は、事故が生じた場合、放射性ヨウ素を含む核分裂生成物を環境中に放出することがある。核分裂生成物のうち、放射性ヨウ素が呼吸や飲食物を通じて人体に取り込まれると、甲状腺に集積し、放射線被ばくの影響により数年～十数年後に甲状腺癌等を発生させる可能性がある。 • この甲状腺被ばくは、安定ヨウ素剤を事前に服用することにより低減することができる。安定ヨウ素剤とは、放射性でないヨウ素を内服用にヨウ化カリウムのような形で製剤化したものである。放射性ヨウ素が体内に取り込まれる前に安定ヨウ素剤を服用すると、血中の安定ヨウ素濃度が通常以上に高くなり、甲状腺ホルモンの合成が一時的に抑えられ、血中から甲状腺へのヨウ素の取り込みが抑制される。また、血中のヨウ素濃度の大半を安定ヨウ素で占めることにより、甲状腺への放射性ヨウ素の到達量を低減させることができる。 • ただし、安定ヨウ素剤は、放射性ヨウ素による内部被ばくに対する防護効果に限定されることから、避難や屋内退避等の防護措置と組み合わせて活用する必要がある。この時、安定ヨウ素剤の服用は、原則として他の主たる防護措置に対して従たる防護措置となる。また、放射性ヨウ素が体内に取り込まれた後に安定ヨウ素剤を服用しても効果は極めて小さくなるため、適切なタイミングで速やかに住民等に安定ヨウ素剤を服用させることが必要となる。 • このため、安定ヨウ素剤の備蓄や事前配布、緊急時の配布手段の設定といった平時からの準備が必要となる。他方、副作用の可能性があるので、留意が必要であり、具体的には安定ヨウ素剤の服用不適項目に該当する者（以下「服用不適切者」という。）や慎重投与の必要性がある者（以下「慎重投与対象者」という。）の事前把握等に努めるものとする。 <p>V - 2 安定ヨウ素剤の配布・服用のための事前準備</p> <p>道は、国の指針及び関係町村の避難計画を踏まえ、地域の住民等に対する安定ヨウ素剤の配布体制を整備し、安定ヨウ素剤の予防服用が行えるよう準備しておくものとする。</p> <p>V - 2 - (1) 事前配布</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 道は、PAZを含む関係町村等と連携し、事前配布用の安定ヨウ素剤を庁舎、保健所、医療施設、学校等の公共施設で管理するとともに、事前配布後における住民による紛失や一時滞在者に対する配布等に備え、予備の安定ヨウ素剤の備蓄を行うものとする。 ② 道及びPAZを含む関係町村等は、安定ヨウ素剤の事前配布を行うにあたり、対象となる住民向けに安定ヨウ素剤の予防服用に関する説明会を開催し、医療に係る事項については、原則として医師による説明を行うものとする。 また、説明会の開催に併せ、調査票や問診等により、禁忌者やアレルギーの有無等の把握に努めるものとする。 ③ 道及びPAZを含む関係町村等は、説明会において安定ヨウ素剤の事前配布に関する説明を受けた住民に対して、説明会での説明事項を記した説明書を付して、安定ヨウ素剤を必要量のみ配布するものとする。 必要量は以下のとおりとする。 <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>13歳以上</td> <td>ヨウ化カリウム丸2丸</td> </tr> <tr> <td>3歳以上13歳未満</td> <td>ヨウ化カリウム丸1丸</td> </tr> <tr> <td>生後1か月以上3才未満</td> <td>ヨウ化カリウム32.5mg 粉末剤より調製する又は32.5mgゼリー剤1包</td> </tr> </table> | 13歳以上 | ヨウ化カリウム丸2丸 | 3歳以上13歳未満 | ヨウ化カリウム丸1丸 | 生後1か月以上3才未満 | ヨウ化カリウム32.5mg 粉末剤より調製する又は32.5mgゼリー剤1包 | <p style="text-align: center;">(略)</p> <p>V 安定ヨウ素剤の取扱い</p> <hr/> <p>V - 1 安定ヨウ素剤服用の目的・意義</p> <ul style="list-style-type: none"> • 運転中や停止直後の原子力発電所等は、事故が生じた場合、放射性ヨウ素を含む核分裂生成物を環境中に放出することがある。核分裂生成物のうち、放射性ヨウ素が呼吸や飲食物を通じて人体に取り込まれると、甲状腺に集積し、放射線被ばくの影響により数年～十数年後に甲状腺癌等を発生させる可能性がある。 • この甲状腺被ばくは、安定ヨウ素剤を事前に服用することにより低減することができる。安定ヨウ素剤とは、放射性でないヨウ素を内服用にヨウ化カリウムのような形で製剤化したものである。放射性ヨウ素が体内に取り込まれる前に安定ヨウ素剤を服用すると、血中の安定ヨウ素濃度が通常以上に高くなり、甲状腺ホルモンの合成が一時的に抑えられ、血中から甲状腺へのヨウ素の取り込みが抑制される。また、血中のヨウ素濃度の大半を安定ヨウ素で占めることにより、甲状腺への放射性ヨウ素の到達量を低減させることができる。 • ただし、安定ヨウ素剤は、放射性ヨウ素による内部被ばくに対する防護効果に限定されることから、避難や屋内退避等の防護措置と組み合わせて活用する必要がある。この時、安定ヨウ素剤の服用は、原則として他の主たる防護措置に対して従たる防護措置となる。また、放射性ヨウ素が体内に取り込まれた後に安定ヨウ素剤を服用しても効果は極めて小さくなるため、適切なタイミングで速やかに住民等に安定ヨウ素剤を服用させることが必要となる。 • このため、安定ヨウ素剤の備蓄や事前配布、緊急時の配布手段の設定といった平時からの準備が必要となる。他方、副作用の可能性があるので、留意が必要であり、具体的には安定ヨウ素剤の服用不適項目に該当する者（以下「服用不適切者」という。）や慎重投与の必要性がある者（以下「慎重投与対象者」という。）の事前把握等に努めるものとする。 <p>V - 2 安定ヨウ素剤の配布・服用のための事前準備</p> <p>道は、国の指針及び関係町村の避難計画を踏まえ、地域の住民等に対する安定ヨウ素剤の配布体制を整備し、安定ヨウ素剤の予防服用が行えるよう準備しておくものとする。</p> <p>V - 2 - (1) 事前配布</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 道は、PAZを含む関係町村等と連携し、事前配布用の安定ヨウ素剤を庁舎、保健所、医療施設、学校等の公共施設で管理するとともに、事前配布後における住民による紛失や一時滞在者に対する配布等に備え、予備の安定ヨウ素剤の備蓄を行うものとする。 ② 道及びPAZを含む関係町村等は、安定ヨウ素剤の事前配布を行うにあたり、対象となる住民向けに安定ヨウ素剤の予防服用に関する説明会を開催し、医療に係る事項については、原則として医師による説明を行うものとする。 また、説明会の開催に併せ、調査票や問診等により、禁忌者やアレルギーの有無等の把握に努めるものとする。 ③ 道及びPAZを含む関係町村等は、説明会において安定ヨウ素剤の事前配布に関する説明を受けた住民に対して、説明会での説明事項を記した説明書を付して、安定ヨウ素剤を必要量のみ配布するものとする。 必要量は以下のとおりとする。 <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>13歳以上</td> <td>ヨウ化カリウム丸2丸</td> </tr> <tr> <td>3歳以上13歳未満</td> <td>ヨウ化カリウム丸1丸</td> </tr> <tr> <td>生後1か月以上3才未満</td> <td>ヨウ化カリウム32.5mg 粉末剤より調製する又は32.5mgゼリー剤1包</td> </tr> </table> | 13歳以上 | ヨウ化カリウム丸2丸 | 3歳以上13歳未満 | ヨウ化カリウム丸1丸 | 生後1か月以上3才未満 | ヨウ化カリウム32.5mg 粉末剤より調製する又は32.5mgゼリー剤1包 | |
| 13歳以上 | ヨウ化カリウム丸2丸 | | | | | | | | | | | | | |
| 3歳以上13歳未満 | ヨウ化カリウム丸1丸 | | | | | | | | | | | | | |
| 生後1か月以上3才未満 | ヨウ化カリウム32.5mg 粉末剤より調製する又は32.5mgゼリー剤1包 | | | | | | | | | | | | | |
| 13歳以上 | ヨウ化カリウム丸2丸 | | | | | | | | | | | | | |
| 3歳以上13歳未満 | ヨウ化カリウム丸1丸 | | | | | | | | | | | | | |
| 生後1か月以上3才未満 | ヨウ化カリウム32.5mg 粉末剤より調製する又は32.5mgゼリー剤1包 | | | | | | | | | | | | | |

原子力災害医療活動実施要領【新旧対照表（抜粋版）】

| 現 行 | 修 正 案 | 備 考 |
|---|---|-----|
| <p>新生児（生後1か月未満） ヨウ化カリウム16.3mg 粉末剤より調製する又は16.3mgゼリー剤1包</p> <p>なお、説明会に参加できない住民に対しては、別途説明の場を設けるなど、代替措置を併せて講じるものとし、歩行困難である等のやむを得ない事情により説明を受けられない住民に対し、家族等を通じて安定ヨウ素剤を配布するための手続きを併せて準備するものとする。</p> <p>これらの説明会等においては、安定ヨウ素剤の配布等を円滑に行うため、必要に応じて薬剤師等に医師を補助等させるなどの措置を講ずるものとする。</p> <p>④ 道及びPAZを含む関係町村等は、住民に事前配布した安定ヨウ素剤について、使用期限（<u>3</u>年）毎に回収し、新しい安定ヨウ素剤を再配布できる体制を構築するものとする。</p> <p>また、成長により必要量が変わった場合に配布してある安定ヨウ素剤を交換及び転出者・転入者に対する速やかな安定ヨウ素剤の回収・配布の仕組みの構築に努めるものとする。</p> <p>V-2-(2) 緊急時における配布体制</p> <p>① 道は、関係町村と連携し、緊急時に住民等が避難を行う際に安定ヨウ素剤を配布することができるよう、配布場所、配布手続き、配布及び服用に關与する医師・薬剤師等の手配等について予め定めるとともに、配布用の安定ヨウ素剤を予め適切な場所に備蓄しておくものとする。なお、備蓄する安定ヨウ素剤については、使用期限（<u>3</u>年）毎に更新を行うものとする。</p> <p>② 道は、関係町村と連携し、避難する住民等に対して安定ヨウ素剤を配布する際に、予防服用の効果、服用対象者、禁忌等について説明するための説明書等を予め準備しておくものとする。</p> <p>V-2-(3) 副作用に係る体制</p> <p><u>道は、関係町村と連携し、安定ヨウ素剤の服用に伴う副作用の発生に備え、予め医療機関に対し、副作用が発生した住民等の受け入れ協力を依頼するなど、救急医療体制の整備に努めるものとする。</u></p> | <p>粉末剤より調製する又は16.3mgゼリー剤1包</p> <p>なお、説明会に参加できない住民に対しては、別途説明の場を設けるなど、代替措置を併せて講じるものとし、歩行困難である等のやむを得ない事情により説明を受けられない住民に対し、家族等を通じて安定ヨウ素剤を配布するための手続きを併せて準備するものとする。</p> <p>これらの説明会等においては、安定ヨウ素剤の配布等を円滑に行うため、必要に応じて薬剤師等に医師を補助等させるなどの措置を講ずるものとする。</p> <p>④ 道及びPAZを含む関係町村等は、住民に事前配布した安定ヨウ素剤について、使用期限（<u>5</u>年）毎に回収し、新しい安定ヨウ素剤を再配布できる体制を構築するものとする。</p> <p>また、成長により必要量が変わった場合に配布してある安定ヨウ素剤を交換及び転出者・転入者に対する速やかな安定ヨウ素剤の回収・配布の仕組みの構築に努めるものとする。</p> <p>V-2-(2) 緊急時における配布体制</p> <p>① 道は、関係町村と連携し、緊急時に住民等が避難を行う際に安定ヨウ素剤を配布することができるよう、配布場所、配布手続き、配布及び服用に關与する医師・薬剤師等の手配等について予め定めるとともに、配布用の安定ヨウ素剤を予め適切な場所に備蓄しておくものとする。なお、備蓄する安定ヨウ素剤については、使用期限（<u>5</u>年）毎に更新を行うものとする。</p> <p>② 道は、関係町村と連携し、避難する住民等に対して安定ヨウ素剤を配布する際に、予防服用の効果、服用対象者、禁忌等について説明するための説明書等を予め準備しておくものとする。</p> <p>V-2-(3) 副作用と服用</p> <p><u>安定ヨウ素剤の副作用としては、急性のアレルギー反応と甲状腺ホルモンの分泌異常による中長期的な健康影響が考えられる。安定ヨウ素剤の服用で副作用が生じる可能性は極めて低く、服用指示が出た際に、服用を優先すべき対象者である妊婦、授乳婦、乳幼児を含む未成年者の保護者等が服用をちゅうちょすることがないように、安定ヨウ素剤を服用することによる副作用のリスクよりも、服用しないことによる甲状腺の内部被ばくのリスクの方が大きいことについて、平時からの周知に努めるものとする。</u></p> | |

原子力災害医療活動実施要領【新旧対照表（抜粋版）】

| 現 行 | 修 正 案 | 備 考 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|------------------|--------------|--------------|-------------------|--------|--------|--------|--------------|--------|----|----|-------|-------------------------|-----------------|----------|-----------|-------|---|------------------|----------|------------|-------------------|-----------------------|-------|---|----|-----|----------------|--------|----|----|-------|----------------------|--------|----|-----|-------|------------------|--------|----|-----|-------|--|------------------|----------|------------|-------------------|----------------------|--------|----|-----|-------|----------------|--------|----|----|-------|----------------|--------|----|----|-------|----------------|---------|-----|-----|--------|------------------|-------|----|----|-------|---------------|---------|---|-----|---------|---|---------|-----|-------|--------|--|------|----------|--------------|--|--------|--------|--------|--------------|--------|----|----|-------|-------------------------|-----------------|----------|-----------|-------|---|------------------|----------|------------|-------------------|-----------------------|-------|---|----|-----|----------------|--------|----|----|-------|----------------------|--------|----|-----|-------|------------------|--------|----|-----|-------|--|------------------|----------|------------|-------------------|----------------------|--------|----|-----|-------|----------------|--------|----|----|-------|----------------|--------|----|----|-------|----------------|---------|-----|-----|--------|------------------|-------|----|----|-------|---------------|---------|---|-----|---------|---|---------|-----|-------|--------|--|
| <p>V - 3 安定ヨウ素剤の保管</p> <p>V - 3 - (1) 保管場所及び保管数量</p> <ul style="list-style-type: none"> 安定ヨウ素剤（丸薬）の保管場所及び保管数量は、次のとおりである。 <p>表5-1 安定ヨウ素剤（丸薬）保管数量</p> <table border="1" data-bbox="278 663 1234 1633"> <thead> <tr> <th rowspan="2">保管場所</th> <th rowspan="2">安定ヨウ素剤錠数</th> <th colspan="2">ゼリー状安定ヨウ素剤包数</th> <th rowspan="2">配布対象人口</th> </tr> <tr> <th>16.3mg</th> <th>32.5mg</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(泊村) 泊村役場</td> <td>11,000</td> <td>10</td> <td>70</td> <td>1,747</td> </tr> <tr> <td>(共和町) 前田診療所 小沢診療所</td> <td>31,000 6,000</td> <td>30 45</td> <td>100 90</td> <td>6,214</td> </tr> <tr> <td>(岩内町) 岩内町役場 北海道後志総合振興局保健環境部 岩内地域保健室（岩内保健所）</td> <td>83,000 45,000</td> <td>119 8</td> <td>330 300</td> <td>13,428 (予備用配置)</td> </tr> <tr> <td>(神恵内村) 神恵内村立神恵内診療所</td> <td>6,000</td> <td>4</td> <td>20</td> <td>923</td> </tr> <tr> <td>(寿都町) 寿都町役場</td> <td>20,000</td> <td>29</td> <td>80</td> <td>3,176</td> </tr> <tr> <td>(蘭越町) 蘭越町保健福祉センター</td> <td>30,000</td> <td>42</td> <td>150</td> <td>4,940</td> </tr> <tr> <td>(ニセコ町) ニセコ町役場</td> <td>27,000</td> <td>57</td> <td>200</td> <td>5,056</td> </tr> <tr> <td>(倶知安町) 倶知安町役場 北海道後志総合振興局保健環境部 保健行政室（倶知安保健所）</td> <td>86,000 24,000</td> <td>182 8</td> <td>670 290</td> <td>16,154 (予備用配置)</td> </tr> <tr> <td>(積丹町) 積丹町立国民保険診療所</td> <td>15,000</td> <td>20</td> <td>110</td> <td>2,261</td> </tr> <tr> <td>(古平町) 古平町役場</td> <td>21,000</td> <td>23</td> <td>80</td> <td>3,344</td> </tr> <tr> <td>(仁木町) 仁木町役場</td> <td>22,000</td> <td>18</td> <td>80</td> <td>3,449</td> </tr> <tr> <td>(余市町) 余市町役場</td> <td>119,000</td> <td>150</td> <td>500</td> <td>19,879</td> </tr> <tr> <td>(赤井川村) 赤井川村役場</td> <td>7,000</td> <td>11</td> <td>40</td> <td>1,175</td> </tr> <tr> <td>(札幌市) 北海道庁</td> <td>161,000</td> <td>4</td> <td>190</td> <td>(予備用配置)</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>714,000</td> <td>760</td> <td>3,300</td> <td>81,746</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 ヨウ化カリウム丸（1錠50ミリグラム、ヒートシール入り） 2 服用対象年齢：3歳以上13歳未満は1丸／1日1回、13歳以上2丸／1日1回 3 数量は、平成27年12月末住民基本台帳人口を基に算定し、必要数量の3日分以上を保管。 4 予備用配置は、紛失者や住民以外の滞在者（旅行者・防災業務関係者）等へ配布するものであり、3日分を保管。</p> | 保管場所 | 安定ヨウ素剤錠数 | ゼリー状安定ヨウ素剤包数 | | 配布対象人口 | 16.3mg | 32.5mg | (泊村) 泊村役場 | 11,000 | 10 | 70 | 1,747 | (共和町) 前田診療所 小沢診療所 | 31,000 6,000 | 30 45 | 100 90 | 6,214 | (岩内町) 岩内町役場 北海道後志総合振興局保健環境部 岩内地域保健室（岩内保健所） | 83,000 45,000 | 119 8 | 330 300 | 13,428 (予備用配置) | (神恵内村) 神恵内村立神恵内診療所 | 6,000 | 4 | 20 | 923 | (寿都町) 寿都町役場 | 20,000 | 29 | 80 | 3,176 | (蘭越町) 蘭越町保健福祉センター | 30,000 | 42 | 150 | 4,940 | (ニセコ町) ニセコ町役場 | 27,000 | 57 | 200 | 5,056 | (倶知安町) 倶知安町役場 北海道後志総合振興局保健環境部 保健行政室（倶知安保健所） | 86,000 24,000 | 182 8 | 670 290 | 16,154 (予備用配置) | (積丹町) 積丹町立国民保険診療所 | 15,000 | 20 | 110 | 2,261 | (古平町) 古平町役場 | 21,000 | 23 | 80 | 3,344 | (仁木町) 仁木町役場 | 22,000 | 18 | 80 | 3,449 | (余市町) 余市町役場 | 119,000 | 150 | 500 | 19,879 | (赤井川村) 赤井川村役場 | 7,000 | 11 | 40 | 1,175 | (札幌市) 北海道庁 | 161,000 | 4 | 190 | (予備用配置) | 計 | 714,000 | 760 | 3,300 | 81,746 | <p>V - 3 安定ヨウ素剤の保管</p> <p>V - 3 - (1) 保管場所及び保管数量</p> <ul style="list-style-type: none"> 安定ヨウ素剤（丸薬）の保管場所及び保管数量は、次のとおりである。 <p>表5-1 安定ヨウ素剤（丸薬）保管数量</p> <table border="1" data-bbox="1513 663 2469 1633"> <thead> <tr> <th rowspan="2">保管場所</th> <th rowspan="2">安定ヨウ素剤錠数</th> <th colspan="2">ゼリー状安定ヨウ素剤包数</th> <th rowspan="2">配布対象人口</th> </tr> <tr> <th>16.3mg</th> <th>32.5mg</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(泊村) 泊村役場</td> <td>11,000</td> <td>10</td> <td>70</td> <td>1,747</td> </tr> <tr> <td>(共和町) 前田診療所 小沢診療所</td> <td>31,000 6,000</td> <td>30 45</td> <td>100 90</td> <td>6,214</td> </tr> <tr> <td>(岩内町) 岩内町役場 北海道後志総合振興局保健環境部 岩内地域保健室（岩内保健所）</td> <td>83,000 45,000</td> <td>119 8</td> <td>330 300</td> <td>13,428 (予備用配置)</td> </tr> <tr> <td>(神恵内村) 神恵内村立神恵内診療所</td> <td>6,000</td> <td>4</td> <td>20</td> <td>923</td> </tr> <tr> <td>(寿都町) 寿都町役場</td> <td>20,000</td> <td>29</td> <td>80</td> <td>3,176</td> </tr> <tr> <td>(蘭越町) 蘭越町保健福祉センター</td> <td>30,000</td> <td>42</td> <td>150</td> <td>4,940</td> </tr> <tr> <td>(ニセコ町) ニセコ町役場</td> <td>27,000</td> <td>57</td> <td>200</td> <td>5,056</td> </tr> <tr> <td>(倶知安町) 倶知安町役場 北海道後志総合振興局保健環境部 保健行政室（倶知安保健所）</td> <td>86,000 24,000</td> <td>182 8</td> <td>670 290</td> <td>16,154 (予備用配置)</td> </tr> <tr> <td>(積丹町) 積丹町立国民保険診療所</td> <td>15,000</td> <td>20</td> <td>110</td> <td>2,261</td> </tr> <tr> <td>(古平町) 古平町役場</td> <td>21,000</td> <td>23</td> <td>80</td> <td>3,344</td> </tr> <tr> <td>(仁木町) 仁木町役場</td> <td>22,000</td> <td>18</td> <td>80</td> <td>3,449</td> </tr> <tr> <td>(余市町) 余市町役場</td> <td>119,000</td> <td>150</td> <td>500</td> <td>19,879</td> </tr> <tr> <td>(赤井川村) 赤井川村役場</td> <td>7,000</td> <td>11</td> <td>40</td> <td>1,175</td> </tr> <tr> <td>(札幌市) 北海道庁</td> <td>161,000</td> <td>4</td> <td>190</td> <td>(予備用配置)</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>714,000</td> <td>760</td> <td>3,300</td> <td>81,746</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 ヨウ化カリウム丸（1錠50ミリグラム、ヒートシール入り） 2 服用対象年齢：3歳以上13歳未満は1丸／1日1回、13歳以上2丸／1日1回 3 数量は、平成27年12月末住民基本台帳人口を基に算定し、必要数量の3日分以上を保管。 4 予備用配置は、紛失者や住民以外の滞在者（旅行者・防災業務関係者）等へ配布するものであり、3日分を保管。</p> | 保管場所 | 安定ヨウ素剤錠数 | ゼリー状安定ヨウ素剤包数 | | 配布対象人口 | 16.3mg | 32.5mg | (泊村) 泊村役場 | 11,000 | 10 | 70 | 1,747 | (共和町) 前田診療所 小沢診療所 | 31,000 6,000 | 30 45 | 100 90 | 6,214 | (岩内町) 岩内町役場 北海道後志総合振興局保健環境部 岩内地域保健室（岩内保健所） | 83,000 45,000 | 119 8 | 330 300 | 13,428 (予備用配置) | (神恵内村) 神恵内村立神恵内診療所 | 6,000 | 4 | 20 | 923 | (寿都町) 寿都町役場 | 20,000 | 29 | 80 | 3,176 | (蘭越町) 蘭越町保健福祉センター | 30,000 | 42 | 150 | 4,940 | (ニセコ町) ニセコ町役場 | 27,000 | 57 | 200 | 5,056 | (倶知安町) 倶知安町役場 北海道後志総合振興局保健環境部 保健行政室（倶知安保健所） | 86,000 24,000 | 182 8 | 670 290 | 16,154 (予備用配置) | (積丹町) 積丹町立国民保険診療所 | 15,000 | 20 | 110 | 2,261 | (古平町) 古平町役場 | 21,000 | 23 | 80 | 3,344 | (仁木町) 仁木町役場 | 22,000 | 18 | 80 | 3,449 | (余市町) 余市町役場 | 119,000 | 150 | 500 | 19,879 | (赤井川村) 赤井川村役場 | 7,000 | 11 | 40 | 1,175 | (札幌市) 北海道庁 | 161,000 | 4 | 190 | (予備用配置) | 計 | 714,000 | 760 | 3,300 | 81,746 | |
| 保管場所 | | | 安定ヨウ素剤錠数 | ゼリー状安定ヨウ素剤包数 | | 配布対象人口 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 16.3mg | 32.5mg | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (泊村) 泊村役場 | 11,000 | 10 | 70 | 1,747 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (共和町) 前田診療所 小沢診療所 | 31,000 6,000 | 30 45 | 100 90 | 6,214 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (岩内町) 岩内町役場 北海道後志総合振興局保健環境部 岩内地域保健室（岩内保健所） | 83,000 45,000 | 119 8 | 330 300 | 13,428 (予備用配置) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (神恵内村) 神恵内村立神恵内診療所 | 6,000 | 4 | 20 | 923 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (寿都町) 寿都町役場 | 20,000 | 29 | 80 | 3,176 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (蘭越町) 蘭越町保健福祉センター | 30,000 | 42 | 150 | 4,940 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (ニセコ町) ニセコ町役場 | 27,000 | 57 | 200 | 5,056 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (倶知安町) 倶知安町役場 北海道後志総合振興局保健環境部 保健行政室（倶知安保健所） | 86,000 24,000 | 182 8 | 670 290 | 16,154 (予備用配置) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (積丹町) 積丹町立国民保険診療所 | 15,000 | 20 | 110 | 2,261 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (古平町) 古平町役場 | 21,000 | 23 | 80 | 3,344 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (仁木町) 仁木町役場 | 22,000 | 18 | 80 | 3,449 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (余市町) 余市町役場 | 119,000 | 150 | 500 | 19,879 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (赤井川村) 赤井川村役場 | 7,000 | 11 | 40 | 1,175 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (札幌市) 北海道庁 | 161,000 | 4 | 190 | (予備用配置) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 714,000 | 760 | 3,300 | 81,746 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 保管場所 | 安定ヨウ素剤錠数 | ゼリー状安定ヨウ素剤包数 | | 配布対象人口 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 16.3mg | 32.5mg | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (泊村) 泊村役場 | 11,000 | 10 | 70 | 1,747 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (共和町) 前田診療所 小沢診療所 | 31,000 6,000 | 30 45 | 100 90 | 6,214 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (岩内町) 岩内町役場 北海道後志総合振興局保健環境部 岩内地域保健室（岩内保健所） | 83,000 45,000 | 119 8 | 330 300 | 13,428 (予備用配置) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (神恵内村) 神恵内村立神恵内診療所 | 6,000 | 4 | 20 | 923 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (寿都町) 寿都町役場 | 20,000 | 29 | 80 | 3,176 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (蘭越町) 蘭越町保健福祉センター | 30,000 | 42 | 150 | 4,940 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (ニセコ町) ニセコ町役場 | 27,000 | 57 | 200 | 5,056 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (倶知安町) 倶知安町役場 北海道後志総合振興局保健環境部 保健行政室（倶知安保健所） | 86,000 24,000 | 182 8 | 670 290 | 16,154 (予備用配置) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (積丹町) 積丹町立国民保険診療所 | 15,000 | 20 | 110 | 2,261 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (古平町) 古平町役場 | 21,000 | 23 | 80 | 3,344 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (仁木町) 仁木町役場 | 22,000 | 18 | 80 | 3,449 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (余市町) 余市町役場 | 119,000 | 150 | 500 | 19,879 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (赤井川村) 赤井川村役場 | 7,000 | 11 | 40 | 1,175 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (札幌市) 北海道庁 | 161,000 | 4 | 190 | (予備用配置) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 714,000 | 760 | 3,300 | 81,746 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

原子力災害医療活動実施要領【新旧対照表（抜粋版）】

| 現 行 | 修 正 案 | 備 考 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|-------------------|-----------------|-----------------|------------|---------|---------|---|--------|-------------------|-------------------|---|---|-----|------|-----------------|------------|---------|---------|---|--------|-------------------|-------------------|---|--|
| <p>5 安定ヨウ素剤（丸薬・ゼリー剤）は、購入後<u>3</u>年毎に更新する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ヨウ化カリウム原薬（粉末）の保管場所及び保管数量は次のとおりである。 <table border="1" data-bbox="231 401 1308 617"> <thead> <tr> <th>管理者</th> <th>保管場所</th> <th>ヨウ化カリウム原薬配備数（本）</th> <th>人口／配布対象（人）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>岩内地域保健室</td> <td>岩内地域保健室</td> <td>2</td> <td rowspan="2">81,746</td> </tr> <tr> <td>後志総合振興局保健環境部保健行政室</td> <td>後志総合振興局保健環境部保健行政室</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 ヨウ化カリウム原薬（1本当たり500g）（使用期限<u>3</u>年（遮光室温保存）） 2 人口は平成27年12月末住民基本台帳人口、配布対象はこのうち0歳～6歳の者。</p> <p>V-3-（2）保管・管理方法</p> <p>①保 管</p> <ul style="list-style-type: none"> 各町村の安定ヨウ素剤は、専用保管庫により保管する。 保管場所は、直接日光が当たらないこと、常温であること、人の出入りが少ないこと等の条件を満たす場所とする。 <p>②管 理</p> <ul style="list-style-type: none"> 各町村は、住民を対象に備蓄する安定ヨウ素剤（丸薬・ゼリー剤）を管理する。 岩内地域保健室、後志総合振興局保健環境部保健行政室及び道地域医療課は、上記表に基づき安定ヨウ素剤（丸薬・ゼリー剤）の予備用配置分及びヨウ化カリウム原薬を管理する。 <p style="text-align: center;">（略）</p> | 管理者 | 保管場所 | ヨウ化カリウム原薬配備数（本） | 人口／配布対象（人） | 岩内地域保健室 | 岩内地域保健室 | 2 | 81,746 | 後志総合振興局保健環境部保健行政室 | 後志総合振興局保健環境部保健行政室 | 2 | <p>5 安定ヨウ素剤（丸薬・ゼリー剤）は、購入後<u>5</u>年毎に更新する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ヨウ化カリウム原薬（粉末）の保管場所及び保管数量は次のとおりである。 <table border="1" data-bbox="1463 401 2540 617"> <thead> <tr> <th>管理者</th> <th>保管場所</th> <th>ヨウ化カリウム原薬配備数（本）</th> <th>人口／配布対象（人）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>岩内地域保健室</td> <td>岩内地域保健室</td> <td>2</td> <td rowspan="2">81,746</td> </tr> <tr> <td>後志総合振興局保健環境部保健行政室</td> <td>後志総合振興局保健環境部保健行政室</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 ヨウ化カリウム原薬（1本当たり500g）（使用期限<u>5</u>年（遮光室温保存）） 2 人口は平成27年12月末住民基本台帳人口、配布対象はこのうち0歳～6歳の者。</p> <p>V-3-（2）保管・管理方法</p> <p>①保 管</p> <ul style="list-style-type: none"> 各町村の安定ヨウ素剤は、専用保管庫により保管する。 保管場所は、直接日光が当たらないこと、常温であること、人の出入りが少ないこと等の条件を満たす場所とする。 <p>②管 理</p> <ul style="list-style-type: none"> 各町村は、住民を対象に備蓄する安定ヨウ素剤（丸薬・ゼリー剤）を管理する。 岩内地域保健室、後志総合振興局保健環境部保健行政室及び道地域医療課は、上記表に基づき安定ヨウ素剤（丸薬・ゼリー剤）の予備用配置分及びヨウ化カリウム原薬を管理する。 <p style="text-align: center;">（略）</p> | 管理者 | 保管場所 | ヨウ化カリウム原薬配備数（本） | 人口／配布対象（人） | 岩内地域保健室 | 岩内地域保健室 | 2 | 81,746 | 後志総合振興局保健環境部保健行政室 | 後志総合振興局保健環境部保健行政室 | 2 | |
| 管理者 | 保管場所 | ヨウ化カリウム原薬配備数（本） | 人口／配布対象（人） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 岩内地域保健室 | 岩内地域保健室 | 2 | 81,746 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 後志総合振興局保健環境部保健行政室 | 後志総合振興局保健環境部保健行政室 | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 管理者 | 保管場所 | ヨウ化カリウム原薬配備数（本） | 人口／配布対象（人） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 岩内地域保健室 | 岩内地域保健室 | 2 | 81,746 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 後志総合振興局保健環境部保健行政室 | 後志総合振興局保健環境部保健行政室 | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |